

健康なあつべつをつくることを宣言します!!

一人ひとりの健康は、まちの元気につながります。健康な地域づくりの目標となる「健康あつべつ宣言」。地域が一体となって健康づくりを進めていきます。

—健康あつべつ宣言—

《つくろう！こどもの笑顔とお年寄りの元気があふれる街あつべつ》
 《声かけ合って支えあい、広がるつながる健康の輪》
 《健康づくり始めようできること、続けようできたこと》



健康あつべつ宣言の

実現に向けて

市では、市民一人ひとりが健康づくりに取り組むための指針「健康さつぽろ21」を平成十四年に策定しています。その基本目標の一つ「健康な地域づくり」を実現するためには、個人や家庭での努力に加え、町内会などの地域組織や自主活動団体、公的機関などが連携し、地域ぐるみで取り組んでいくことが重要となります。

会」を設立しました。各団体の地域における活動の報告や課題についての意見交換、今後の取り組みなど、健康な地域づくりの実現に向けた検討が行われています。

昨年十二月、区では、連合町内会、老人クラブ連合会、民生児童委員協議会、自主活動団体の代表者などで構成される「厚別区健康づくり懇話会

懇話会では、今年二月、区の目指す方向を示す「健康あつべつ宣言」を策定しました。みんなが、健康な地域は自分たちがつくるという意識を持ち、その健康づくりを地域で応援していくことが、まちの元気につながります。今後は、「健康あつべつ宣言」の実現を目指し、具体的な取り組みを進めていきます。



こどもの笑顔とお年寄りの元気があふれる街へ

高齢化が進んでいる現在、市でも平成十五年には、六十五歳以上の人口が十五割を超えました。平均寿命も伸びており、これからは地域で生活する高齢者がますます増えてきます。その一方で、生活様式の多様化などから、がんや心臓病などの生活習慣病や、

介護を必要とする人も増加しています。また、少子化・核家族化などによる育児不安や児童虐待なども問題となってきました。

地域で過ごす時間が多くなるお年寄りの元気と、将来を担う子どもたちの健やかな成長は、これからの地域には欠



第1回厚別区健康づくり懇話会 (12月10日)

